

第29回

日本がん分子標的治療学会学術集会 に参加いたしました！！

7月2日～4日に北海道で開催されました「第29回日本がん分子標的治療学会学術集会」に分子病態解析部門の世良田聡先生と舟嶋英志先生そして学部生6年の加藤琉威さん清水和旗さん横山春彦さん総勢5名で参加してまいりました。

世良田先生は「腫瘍微小環境を活用した新規作用機序を有するGlypican-1標的抗体薬物複合体の開発」舟嶋先生は「Glypican-1を標的とした抗体薬物複合体と免疫チェックポイント阻害剤の併用投与による相乗的な抗腫瘍効果の検討」加藤さんは「Glypican-1を標的とする抗体薬物複合体は頭頸部扁平上皮癌の新規治療薬となり得る」清水さんは「ゲムシタビン耐性膵臓癌に対するGlypican-1を標的とした抗体薬物複合体による新規治療薬開発」横山さんは「肺扁平上皮癌に対するGlypican-1を標的とした抗体薬物複合体による新規治療薬開発」について、それぞれポスター発表、口頭発表を行いました。研究に活かせるヒントや情報を吸収してきたのではないかと思います。学生さんたちは臨床実習と学会発表に向けての準備と大忙しだったと思いますが、日々意欲的に取り組む姿勢をみて今後の期待を持たずにはられません！舟嶋先生より「今回の学会では、様々な癌治療の最先端の研究を知る貴重な機会となりました。この貴重な経験を、現在進めている抗体医薬研究にも活かして日々取り組んでいきたいと思います。」とのお言葉をいただきました。また、ご多忙の中ご指導くださった世良田先生本当にお疲れ様でした。

